

<http://www.unisis.co.jp>

教育用針先モデル (一般医療領域)



教育用針先モデル(一般医療領域)

患者様に対するインフォームドコンセントや、医療現場での教育用針先モデル

一般的な医療現場で使用される代表的な針先を実際的设计図を基に模型サイズに拡大し再現した教育、説明用の針先モデルです。インフォームドコンセントや穿刺教育において、特徴や構造の違いをよりわかりやすく説明するために最適な針先モデルです。



●ランセットポイント(レギュラーベベル)

刃面の左右に小さな第二刃面を形成して穿刺時の抵抗を抑えた針先の形状です。注射針をはじめとした一般針の基本的な形状となります。

特に皮下注射に用いられるLANCETポイントはレギュラーベベルと呼ばれ、刃面角度が $12^{\circ}\sim 14^{\circ}$ のものを指します。



●ランセットポイント(ショートベベル)

ランセットポイント(レギュラーベベル)より刃面の長さを短くし、組織損傷等の副作用を低減したものがランセットポイント(ショートベベル)です。

刃面角は $18^{\circ}\sim 20^{\circ}$ と急勾配で、穿刺の際の抵抗は大きく切れ味は鈍くなります。主に静脈穿刺や採血など血管を過度に傷つける可能性のある手技に用います。



●バックカットポイント

刃面の裏側に小さな刃面を形成した針先形状です。裏取り(裏研ぎ)などと呼ばれているほか、刃面側から見ると特徴的な山(突起)がある為Vカットポイントともよばれています。



●フーバーポイント

針先を刃面側に屈曲させたものがHUBERポイントです。Robert Huber先生により皮下注射用に開発されました。現在はその特徴的な形状から皮下に埋め込んだポートに薬剤を注入するための針(ポート針)として普及しています。



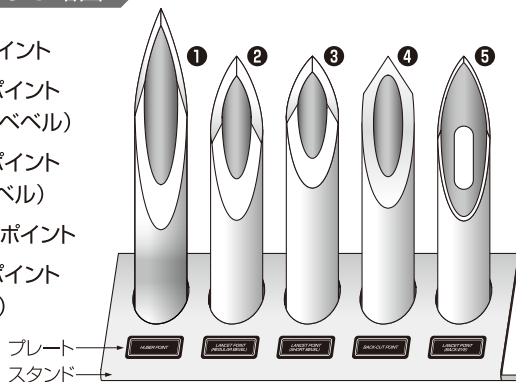
●ランセットポイント(バックアイ)

ランセットポイントの裏面に孔加工を施した針先形状です。

特徴的な孔は透析用AVF(動静脈脈管動静脈瘻)向けに開発されました。裏面の孔により、血管壁の内圧が緩和され、血管の収縮を防ぎ赤血球の損傷を防ぎます。

各部名称および略図

- ①フーバーポイント
- ②ランセットポイント(レギュラーベベル)
- ③ランセットポイント(ショートベベル)
- ④バックカットポイント
- ⑤ランセットポイント(バックアイ)



製品詳細

【製品名称】教育用針先モデル(一般医療領域)

【販売単位】1セット

セット品構成

構成目		数量	構成目		数量
針先モデル	バックカットポイント	1	スタンド		1
	ランセットポイント(レギュラーベベル)	1	冊子: 針の歴史(一般医療領域)		1
	ランセットポイント(ショートベベル)	1	取扱説明書・保証書		1
	ランセットポイント(バックアイ)	1	針先モデル収納箱		1
	フーバーポイント	1			

※特注品等のご相談につきましては、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

お問合せ先【販売元】



〒110-0016 東京都台東区台東4-11-4 三井住友銀行御徒町ビル7F
Tel: 03-5812-8830 Fax: 03-5812-8831

ユニシスウェブサイト <http://www.unisis.co.jp>

取扱店